

信州大学医学部附属病院に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
薬剤部における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2017年5月2日

「小児造血幹細胞移植患者におけるタクロリムスによる低マグネシウム血症の関連因子解析」に関する臨床研究(後ろ向き観察研究)を実施しております。

信州大学医学部医倫理審査委員会の審査による医学部長の承認を得て、調査を行っています。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	3667
研究課題名	小児造血幹細胞移植患者におけるタクロリムスによる低マグネシウム血症の関連因子解析
所属(診療科等)	信州大学医学部附属病院 薬剤部
研究責任者(職名)	信州大学医学部附属病院 (薬剤部長 大森 栄)
研究実施期間	2017年4月4日～2021年12月31日
研究の意義、目的	移植後に使用される免疫抑制剤(タクロリムス)により、血液中のマグネシウムの量が下がってしまうことが知られています(低マグネシウム血症)。マグネシウムが下がり過ぎてしまうことで血圧が上昇したり、腎臓に負担がかかってしまったりする恐れがあります。そこで、本研究ではタクロリムスによってマグネシウムが下がりやすい人はそうでない人と比べてどのような違いがあるのか調べることを目的としています。
対象となる患者さん	2008年4月から2016年12月の期間で当院小児科にて造血幹細胞移植を実施し、タクロリムスによる治療を受けた方
利用するカルテ情報／検体	診断名、年齢、性別、使用薬剤、検査結果、移植の種類等
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、タクロリムスによる低マグネシウム血症と各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 信州大学医学部附属病院薬剤部 薬剤師 岩間創 電話: 0263-37-3013

診療記録(カルテ情報)や検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌で発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。